

事業所名

さくらぼ長野吉田教室

支援プログラム（参考様式）

作成日

令和7年

2月

15日

法人（事業所）理念		利用者1人1人が持っている個性が大きく花開くように将来自立するための可能性を見出すような支援を行う。							
支援方針		就労に向け様々な力をつけながら、強みを生かした仕事の選択ができるように、年齢や発達段階に応じて支援をしていく。							
営業時間		平日11時 休日10時	00分 00分	19時 18時	00分 00分	まで まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・区切りとなる16時30分までにどこまで行えるのかを自分の中で決定するように促す。（個別活動） ・時間を意識しつつ時間いっぱい活動を行えるような習慣を図る。（さくらぼチャレンジ） ・決められた時間になったら、集合をする切り替えを行う。（お仕事体験（10時30分（第一部）15時（第二部））共通部分（土曜日）） 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で行う活動とそれらを終わらせるのに必要な時間を考え、やるべきことを決めるように促しをする。（個別活動） ・集団になってアイスブレイク的な活動や微細運動の時間を提供する。（ミニコーナー・説明） ・スタッフが課題の発表と説明を行い、聞く力などの向上を図る。（お仕事体験（10時30分（第一部）15時（第二部））共通部分（土曜日）） ・自己分析（お仕事体験第二部特色（土曜日）） 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・「プチお仕事体験」、「制作・プログラミングなどの探究活動」、「カードゲーム・ボードゲーム・コミュニケーション」の中からどの活動をするか決める（意思決定）。（さくらぼチャレンジ） ・自分が1日に行った活動をスタッフと振り返り、できたことを認識できるようにする。（振り返り） ・自分たちで周りが楽しめると思えるイベントの企画・準備などをする自主的な活動の時間を入れる。（長期休業イベント） ・見聞きした物と自分の興味や適性の振り返りを行う。（長期休業イベント） 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・さくらぼチャレンジの内容を聞き、自分でどの活動を行うのか決めて報告する。（ミニコーナー・説明） ・自分の活動をスタッフに報告するように声かけをする。（振り返り） ・最後にスタッフに報告するように声かけをする。（お仕事体験（10時30分（第一部）15時（第二部））共通部分（土曜日）） ・ゲストスピーカーを招いた他者との対話（お仕事体験第二部特色（土曜日）） 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフが以前にしていた仕事などの話を聞き、いろいろな仕事に対し興味を広げる。（ミニコーナー・説明） ・いろいろな経験をする場を提供し、社会に必要なようになってくるスキルの向上を図る。（さくらぼチャレンジ） ・決められた範囲で活動を行う。分からないところは自らスタッフや利用者聞くような雰囲気にする。（お仕事体験（10時30分（第一部）15時（第二部））共通部分（土曜日）） ・企業などを見学する機会を提供する。（長期休業イベント） ・職場見学（お仕事体験第二部特色（土曜日）） 							
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・面談などを行い、子どもたちとの情報を共有する。 ・年に数回保護者会を行う（予定） ・家庭では確保しづらい体験の機会の提供 			移行支援		子どもたちの必要性に応じて学校を中心に関係者会議や支援会議の場をとっていく。		
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・長期休業などに、見学体験をする企業の詳細を調べ、実際に見学や体験を行っている。（ジョブツアー） ・売り物にならずにはねられたりんごを交渉して引き取り、ジュースにして販売するなどの活動を行っている。（お仕事体験） 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修など、教室内研修を行い、学習の場を持つ。 ・専門的な知識のあるスタッフを中心とした学習会を行う。 		
主な行事等		年間を通した行事：ジョブツアーと題した職場見学、地域でのイベントへの参加 季節に応じた行事：夏祭り、大掃除など							